

7/23

J 飛驒地域4駅で復旧イベント R 高山本線早期復旧ありがとうございました！

記録的な大雨による災害で一部不通となっていたJR高山本線が7月23日、全線で通常通り運行を開始し、飛驒地域3市内の4駅で復旧イベントが行われました。

JR飛驒古川駅では、都竹市長や市職員、駅員らが特急で来られた観光客らを出迎え、「感謝！JR高山本線早期復旧 ありがとうございました！」と書かれた横断幕を手に、早期復旧への感謝を伝えました。

駅の出口では、観光客らに市職員らが観光パンフレットやみだらし団子の引換券を手渡し、歓迎の言葉を掛けました。

迅速に復旧作業をしてくださった関係機関の皆さん、本当にありがとうございました。



8/5

伝 「塩屋家住宅・土蔵」国登録有形文化財プレート授与式 伝統的な農家住宅が国登録有形文化財に認定

令和元年12月に国登録有形文化財に登録された、古川町信包の「塩屋(えんや)家住宅・土蔵」で5日、所有者の塩屋正道さんに文化庁から記念のプレートが贈られました。

塩屋家の住宅と土蔵はいずれも明治前期ごろに建築されたとみられており、主屋は切妻造平入の木造2階建てで、玄関に大きな梁(はり)がある飛驒地域の伝統的な農家住宅となっています。土蔵は切妻造の2階建てで、屋根は鉄板ぶき、外壁は漆喰塗りで仕上げられており、地域の景観をより引き立てています。

この日は、沖畑康子教育長が同住宅を訪問し、プレートと登録証を塩屋さんに伝達しました。



8/8

乳 赤ちゃん防災リーダー認定・岐阜県助産師会と協定締結 幼児を抱える母親の防災教育を推進

防災士の資格を持つ助産師らが、乳幼児を抱える母親らへ防災教育などを行う「赤ちゃん防災リーダー」の認定式と、災害時に市内の助産師が活動できなくなった場合などに、岐阜県助産師会に協力を求める災害協定の締結式が8日、市役所で行われました。

認定式では、助産師7人と看護師1人が認定を受けました。赤ちゃん防災リーダーは、親子サロンなどを通じて母親に防災教育を推進するほか、災害時に、親子が過ごしやすい避難所づくりを助言します。

締結式では、都竹市長と加藤直子会長が協定書を取り交わしました。協定は、災害時に市内の助産師が活動できなくなった場合などに、同会に所属する助産師に妊産婦の体調管理などの協力を求めるものです。



8/21

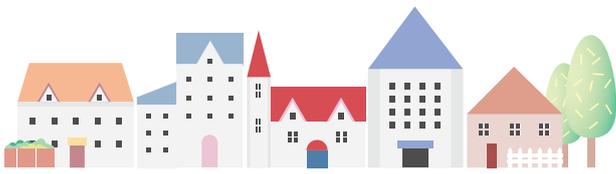
障 飛驒市障がい者就労施設応援企業認定式 障がいのある方の就労推進を応援

障がいのある方の自立した生活を支えるため、障がい者就労施設の製品を購入したり業務委託を行った事業者を「障がい者就労施設応援企業」に認定する認定式が21日、市役所で行われました。

この認定は、障がい者就労施設から年間50万円以上の物品を購入した事業所と、年間100万円以上の業務委託を行った事業者に対し、市が対象費用の1%を奨励金として交付する制度です。

認定を受けたのは、(株)ASSISTON (アシストン) 飛驒、(株)喜多村、古川町商工会、高山米穀協業組合、(株)吉城コンポの5事業所で、都竹市長から認定書が手渡されました。





8/21

市 議会議員らがタブレット端末操作を学ぶ 議会タブレット端末でペーパーレス化

議案書などのペーパーレス化を目指すため21日、市役所で議員向けのタブレット端末操作研修会を行いました。

ペーパーレス化は、コピー用紙削減による省資源化や職員の書類配布の負担軽減を行うもので、各議員に端末1台を貸与します。9月定例会は試行期間として紙とタブレットを併用し、12月議会から本格的に導入します。

研修会では、高山市のデザイナー柿崎なつみさんを講師に招き、議員13人が、タブレット端末「iPad (アイパッド)」の使い方を学びました。

柿崎さんは、メールの受信方法やノートアプリを使って議案書にメモを書き込む方法などを説明しました。議員らは、使い慣れない端末操作に悪戦苦闘していました。



市民ライターがまちの話題をお届け!!

広報ひだまち特派員レポート

5月から採用している市民ライター「広報ひだまち特派員」が市内のさまざまな話題をお届けします。
(特派員：水樹 華・岡田 直樹)

8/9

み 飛騨市ふるさと種蔵村「myみょうが畑プロジェクト」 みょうが畑を活用し景観保全を図る

飛騨市ふるさと種蔵村「myみょうが畑プロジェクト」の最終回「みょうがの収穫! 取り放題!」が9日、宮川町種蔵地内で行われました。

この日は、岐阜大学の高木朗義先生や学生さん、地元の方、飛騨市関係案内所ヒダスケから応募された方など約20人が参加されました。

みょうが作りの師匠である中谷節子さんから説明を受け、根元にひょっこりと竹の子のように頭を出している、みょうがを次々と収穫しました。

収穫の後には、地元の方々からみょうがを使った料理が振舞われました。参加者は、みょうが寿司や味噌漬け、天ぷら、和え物など、さまざまな料理に舌鼓を打っていました。



8/12

高 吉城高校で「都竹市長の夏期特別講座」 高校生と地域の課題を考える

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、市でどんなことが起きているのか、また、その解決法を学ぶ「都竹市長の夏期特別講座」が12日に吉城高校で開かれ、1年と3年の希望者23人が受講しました。

都竹市長は新型コロナウイルス感染予防のため、国が何の前触れもなく執った休校措置や混乱を招いた学校のような、休校を決断するまでを振り返り、引き続き経済活動への影響や感染情報に関するデマや誹謗(ひぼう)中傷など市内で実際に起きている出来事を取り上げました。

経済活動の対策に関して「あなたが市長だったらどうしますか」と問いかけると、生徒たちは進んで意見を述べていました。



8/23

お 畑でクッキング 自然の力を体感! 青空教室 おいしい夏野菜を楽しむ

珍しい野菜の収穫体験や、オリジナルの野菜バーガーづくりなどを通して自然の力を体感する「青空教室」が23日、古川町畦畑のソヤ畦畑農園(森本悠己さん経営)で開催され、市内から約60人の親子連れが参加しました。

収穫体験では、「青巾着ナス」や「真黒(しんくろ)ナス」、鈴のような形をした「鈴ピーマン」、赤紫色のオクラなどを親子で収穫しました。

オリジナル野菜バーガーづくりでは、飛騨牛コロケを挟んだバーガーに、好みの野菜を何種類も選んで素揚げにしてトッピング。初めて口にしたり野菜もおいしそうに食べていました。

